

令和5年8月7日
大阪公立大学医学部附属病院

免疫抑制剤の減量・中止が遅れ、汎血球減少症が生じた事例について

当院において、腎機能が低下した患者さんに対して、免疫抑制剤であるメトトレキサートの減量・中止が遅れ、汎血球減少（血液中の白血球、赤血球、血小板のすべてが減少する状態）が生じた事例が発生しましたことをご報告申し上げます。この事例におきまして、速やかに院内で医療安全に関する会議を開催し、検討を行いました。その結果、腎機能低下を適切に把握できるように、業務手順の見直しや医療従事者の教育などの改善策を実践することで、再発防止に取り組んでおります。

患者さん、ご家族の方をはじめ関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めて参ります。